



<今年の主役です>

名花として知られ、日本固有の花のように思われているウメは、もともとは中国から渡ってきました。原産地は中国の高地といわれています。ウメは古くから人々に愛され古歌にもたくさん詠まれています。中でも万葉集ではウメを詠ったものは百九十首で、サクラを詠ったものは四十一首です。奈良時代には「花」といえばウメの花を指したものですが、平安時代になると、花の流行が変わったのか、この頃から、だんだんとサクラのようになってきました。

【この欄は、「牧野富太郎植物記5」（あかね書房）を参考にしました】



※どの時代になっても、ウメの咲き始める頃から少しずつ暖かくなり、春の窓が開いてきます。

今、ふれあいの村では・・・

村の事務所の向かいの木の枝に、ミカンの輪切りがささっています。メジロは、まず、枝の上の方にとまり、少しずつ移動して、下の方にあるミカンのそばに降りてきました。こちらも少しずつ近寄り、ようやく撮影できました◆「今年の寒さは四十年ぶりです」と報道されていますが、村にも寒波がやってきて、ツララや霜柱など久しぶりに見ました◆雪の上に動物の足跡が残っています。小さな歩幅と蛇行した動き……。誰の足跡でしょうか？村内で見かける動物たちの特徴が頭の中で回っています。



ツララ



メジロ



誰の足跡？



霜柱

☆来月のファミリーコミュニケーションデー：3月4日（日）

10:00～12:00《自然観察会》どこかで春が…。森で春を探そう
植物(ピット)と野鳥観察(参加費無料)

13:00～15:00《フォーク講座》早春の季節を描く(材料費等：250円)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあい広場でくらしている金太郎と仲間たち。きょうは、くますけが、「むこうでキジバトがなにかさがしものをしているみたいだよ。いっしょにさがしてあげよう」というので、みんなでいきました。ちかくまでいくと、うろとジグザクにあるいています。「なにをしているの?」ときくと、「エサになるくさのたねをさがしているんだ。いそがしいので、いっしょにあそべないよ」といわれました。

くますけは、「ここまできたんだ、このまえむらのしょくいんさんがつくっていたむささびのいえがどうなったか、みにいこう」といあんしました。

むささびのいえがあるきのしたまでいくと、むささびがおをだしました。「あたらしいいえのすみこちはどうだい?」ときくとうれしそうでした。

★フィールドワーク★

自然の生活とは?

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

『木ラリー』は、村内にある16のポイントを探しながら樹木についての知識が深まるように工夫されたゲームです。広葉樹と針葉樹、常緑樹と落葉樹など、それぞれの種類の代表的な木々を巡るコースは早い人で約60分かかります。春が待ち遠しい今の季節、木々はどのように過ごしているのでしょうか。さまざまな姿の一部をご紹介します。



ケヤキ



ウラジロモミ



キブシ



マユミ



ヤツデ



タブノキ



ツノハシバミ



ハナイカダ



サンショウ